

科目名	情報処理 B	学年	1
サブタイトル	表計算ソフトによるデータ処理とデータベース機能	単位	1
教員名	太田 信宏	研究室	1314
連絡方法	ohtan@shonan.bunkyo.ac.jp		
授業概要	現代社会にあふれている膨大な情報を有効活用するためには、データを適切に処理していく能力が求められる。この授業の目的は、データの整理・加工・分析方法の習得である。具体的な授業内容は、表計算ソフトによる情報の表現とデータ処理、情報を主体的に入手するためのアンケート調査とその分析方法、処理したデータを効果的に表現するための技法などである。授業は表計算ソフトおよびデータベースソフトを利用した演習形式で行う。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトを用いた効率的なデータ処理（作表・集計・グラフ化）が行える ・アンケート調査の結果を適切な手法で集計・分析できる ・データベース機能を理解し、基本的なデータベース操作が行える 		
授業計画（1回）	1.授業オリエンテーション、スキル確認テスト		
授業計画（2回）	2.表計算ソフトの基本操作、計算式の活用		
授業計画（3回）	3.関数（合計、平均、最大、最小）と数式のコピー、セル参照		
授業計画（4回）	4.関数（件数、順位）と表の書式設定		
授業計画（5回）	5.データベース関数（検索条件の指定）		
授業計画（6回）	6.グラフ表現1（棒グラフ、円グラフ、折れ線グラフ）		
授業計画（7回）	7.グラフ表現2（3Dグラフ、複合グラフ、散布図ほか）		
授業計画（8回）	8.複数ワークシートの処理、グループ化と3D集計		
授業計画（9回）	9.ピボットテーブルによるデータの検索と加工		
授業計画（10回）	10.アンケート調査と集計		
授業計画（11回）	11.データベース機能（並べ替え、抽出、集計処理）		
授業計画（12回）	12.データベースソフトの基本操作とテーブルの作成		
授業計画（13回）	13.クエリの操作（検索、抽出、加工処理）		
授業計画（14回）	14.レポート機能と印刷		
授業計画（15回）	15.授業のまとめと復習・授業アンケート		
授業外での学修（予習・復習）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で扱う表計算ソフトの関数について、事前に調べておくこと ・Web上にある統計資料・各種データの所在を調べておくこと ・課題の作成においては、授業外の時間を利用して発展課題まで取り組むこと 		
評価方法	評価の割合は、定期試験45%、授業中の課題45%、平常点10%として100点換算する。定期試験はPCによる実技試験を行う。		
評価基準	定期試験（実技試験）では、表計算ソフトの基本技能および実践的な活用能力をみる試験を行う。授業中の課題については、提出点＋内容点の合計を点数化する。内容点とは、成果物の完成度・内容・分量・センスの総合点である。すべての評価項目を100点換算した点数で90点以上をAA、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、59点以下をDとする。		
テキスト	資料を配付する。		
参考書	使用しない。		
受講生へのメッセージ	この授業の目的は情報の整理・加工・分析です。表計算ソフトやデータベースソフトを活用して、情報を有効活用する方法を身につけて下さい。また遅刻・欠席をしないよう注意して下さい。授業に対する姿勢・態度も評価のポイントになります。遅刻／早退は3回で欠席1回分とみなします。		